

のびやかに ばらんすよく 生きる力を育てます

知：生きてはたらく力 徳：豊かな心 体：健やかな体 公：公共心と社会参画 開：未来を開く志

| | | | | | | |
|------|--------------|--------------------------------------|-----------|-------|---------|-----------|
| 学校概要 | 創立 46 周年 | 学校長 湊 浩一 | 副校長 石月 努実 | 2 学期制 | 一般学級： 6 | 個別支援学級： 2 |
| | 児童生徒数： 149 人 | 主な関係校：丸山台中学校・丸山台小学校・下野庭小学校・野庭すずかけ小学校 | | | | |

| 教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 | 野庭丸山台中 ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
|----------------------------------|--|--|
| 自己実現を目指し、自分らしく生きる力 ↑ 自己有用感 | 野庭中学校 丸山台中学校 丸山台小学校 下野庭小学校 野庭すずかけ小学校 | ○いつでも元気よく挨拶できる子ども ○自分も仲間も大切にできる子ども ○すすんで学習相とする子ども ○小中の連携を深め、授業力の向上を目指して ・授業参観および研究協議の機会を年4回設定します。 ・担当者会議を年5回設定します。 ・小中職員が一堂に会する合同研修を年1回設定します。 ※来年度、円滑に1中3小ブロックへ移行できるよう支援・活動します。 |

| | |
|--------|--|
| 中期取組目標 | 生徒→ <u>あ(挨拶)・せ(清掃)・か(感謝)・け(けじめ)</u> ←教職員 |
| | <p>↓</p> <p>①自分にふさわしい進路選択ができる学力を授業で身につかせます。 ②豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション力を育てます。 ③発達に応じて心身の健康を自分でコントロールできる力を育成します。</p> |

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|-----------------------------------|---|
| 確かな学力 担当 学習指導部 | ①信頼関係をベースに学習規律を確立し、基礎・基本の定着を図り、学力向上を目指します。 ②「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」を授業改善の視点にすえ、「分かるから楽しい授業」づくりに努め、「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力」を育てます。 |
| 豊かな心 担当 人権教育推進委員会 | ①「道徳」を核に、自他を大切にし、自分を律し、人を思いやれる、しなやかな心の育成を目指します。 ②特別活動や学校行事を通して、互いのよさや可能性を発揮し、認め合い、合意形成を図ることで、よりよい人間関係を形成しようとする態度を育てます。 |
| 健やかな体 担当 保健体育科 | ①新体力テストの結果から課題を明確化し、生徒一人ひとりに応じた体力向上を目指します。 ②自己の生活上の課題に気付き、生活を改善するための計画を考え、結果が出せるよう粘り強く取り組む態度を育てます。 |
| 生徒指導 担当 生徒指導部 | ①学校スローガン『あ(挨拶)・せ(清掃)・か(感謝)・け(けじめ)』を生活規律の土台に、あたりまえのことがあたりまえにできる生徒の育成を目指します。 ②教育相談活動を充実させ、生徒の向上心や自浄能力を引き出す指導に取り組みます。 |
| 保護者・地域住民との連携 担当 課題検討委員会 | ①地域の学校として、保護者や地域住民と協働して、開かれた学校を目指します。 ②学校だよりや学校HPを活用して、教育活動の情報公開に努めるとともに、生徒の地域行事への参画を促し、地域に貢献しようとする態度を育てます。 |
| キャリア教育 担当 総合学習担当 | ①自らの進路に向かって、主体的に自己決定ができる生徒の育成を目指します。 ②自分自身を肯定的に見つめ、自己の夢に向かって前向きに取り組む態度を育てるとともに、1年次の職業講話、2年次3年次の職業体験を通して、正しい職業観を醸成します。 |
| 学校統合 担当 統合担当 | ①野庭中学校にとっても、丸山台中学校にとっても、プラスとなる学校統合を目指します。 ②よりよい人間関係づくりに向けて、生徒が主体的に行動できる交流活動に取り組むとともに、学校統合を生きた教材として活用し、地域社会づくりに参画・貢献しようとする態度を育てます。 |
| 教育環境整備 担当 事務部 | ①プール清掃や教室のワックスがけ等は、学校配当予算を活用して業者委託とし、教職員の職務軽減に努めます。 ②閉校に向けて、計画的な資産管理に努め、保管替を実施し市の教育資産を再活用します。 |
| いじめへの対応 担当 全教職員 | ①誰もが、安心して、安全かつ豊かな学校生活を送れる体制づくりを目指します。 ②生徒一人ひとりが、受け入れられていると実感できる受容的な環境を整えます。 ③早期発見・早期解決を目標に、全教職員が毅然とした姿勢でいじめ事案に対応します。 |
| 人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 副校長 | ①横浜型メンターチームを活用して、本校採用の教員の指導(授業)力向上を目指します。 ②月45時間・年360時間以内を目標に業務改善に取り組み、心身ともに健康な学校を目指します。 ③学校閉庁日・定時退勤日・長期休業を活用して、弾力的な勤務体制を構築するとともに、部活動休養日(平日52日、土日52日)を計画的に年間で運用します。 |